



情報 は誰のもの？

く日本を戦争する国にしないために私たちができることく

国の情報が‘保護’される
特定秘密保護法、
私たちの情報が‘監視’される
マイナンバー法(共通番号制度)や
共謀罪(テロ等準備罪)法が、
成立した。

政府解釈でも違憲とされてきた
集団的自衛権の行使を容認し、
憲法が禁じる‘武力行使’に道をひらく
安保法制ができた。

憲法が保障する私たちの知る権利、
思想・良心の自由、言論・表現の自由、
プライバシーの権利、‘もの言う’自由が、
いま奪われつつある。
その先に、
再び戦争の足音が聞こえる。

予約不要・入場無料

●基調講演



清水雅彦氏
(日本体育大学教授・憲法学)

1966年兵庫県生。明治大学大学院法学研究科博士
後期課程単位取得満期退学。札幌学院大学法学部教授
などを経て、現在日本体育大学体育学部教授。
専門は憲法学。研究テーマは平和主義、監視社会論。
戦争をさせない1000人委員会事務局長代行、九条の
会世話人。主な著書に『治安政策としての「安全・安心
まちづくり」』(単著・社会評論社 2007年)、『憲法を変
えて「戦争のボタン」を押しますか?』(単著・高文研 2013
年)、『秘密保護法から「戦争する国」へ』(共編著・旬報
社 2014年)、『マイナンバー制度 番号管理から住民を
守る』(共著・自治体研究社 2015年)、『すぐにわかる
戦争法＝安保法制ってなに?』(共著・七つ森書館
2015年)など。

●報告

大垣警察市民監視事件(原告・弁護士団)

●パネルディスカッション

樋口のり子氏(海自護衛艦さわぎり訴訟元原告)
前田裕司氏(日弁連共謀罪対策本部委員)

情報は誰のもの？

一緒に考えたい。

私たちは何をすべきだろうか。

私たちに何ができるのだろうか。

日本を再び戦争する国にしないために、
私たちの自由と権利、
民主主義社会を、平和な未来を守るために。

2017年

8月19日(土)

14時～16時半(13時半開場)

宮日ホール(宮日会館11階)



主催：宮崎県弁護士会 / 共催：日本弁護士連合会

お問合せ 宮崎県弁護士会 ☎(0985)22-2466